



菊池地域献穀事業 御田植祭  
(6月21日撮影)

**KOSHI NEWS**

令和7年 夏号



**5月27日**  
きよはらいさい ばしゆさい  
**清祓祭・播種祭**

『清祓祭』では神職が田を清め、五穀豊穰を祈りました。『播種祭』では、献穀者に選ばれた嶋田昭一さん・絹子さん夫妻、菊池地域献穀事業推進協議会の荒木義行会長（合志市長）、東哲哉副会長（JA菊池代表理事組合長）が、苗床に種をまきました。



毎年11月23日、その年に収穫された新穀を天皇陛下が神々に供え、ご自身も食する『新嘗祭』。収穫への感謝と五穀豊穰を祈る祭りに各都道府県の農家が米と粟を献上するのが献穀事業です。  
 熊本県内では、各地域振興局管内を持ち回りで実施。133回目となる令和7年度は、

# 菊池地域 献穀事業

菊池地域2市2町（菊池市、合志市、大津町、菊陽町）とJA菊池が推進協議会を作り、合志市の農家が献穀を実施します。本市での実施は65年ぶりです（当時は旧合志町）。

※献穀事業は市ホームページでも紹介しています



▲市ホームページ

**6月21日**  
おたうえさい  
**御田植祭**

献穀事業は、食と農業の大切さを次世代に伝える役割も果たしています。御田植祭には、上庄区のこどもたちが田男・早乙女として参加しました。こどもたちは、関係者と一緒に水が張られた田に入り、苗を丁寧に植え付けました。



産業振興、住み続けたいくなるまちづくりを

おかむら さとし

# 岡村郷司副市長 就任

7月1日に副市長を拝命しました。成長し続けている合志市で仕事ができる感謝と喜びと共に、責務の重さに身の引き締まる思いを感じています。

今年3月末に県を退職するまで商工や地域振興、防災、文化財活用などに携わってきました。これから、この経験を活かすと共に、何より地域の状況をしっかりと把握し、荒木市長のもと、市議会、職員と、人と地域が輝き未来につながる、健康で幸福な都市の実現に力を尽くします。



また、本市では半導体関連企業などの立地が進み、農畜産業も盛んです。住みやすいまちとして全国的にも評価され、人口も増え続けています。今後、持続的に成長、発展していくために、産業のさらなる振興、住み続けたいくなるまちづくりなど、企業、団体や市民の皆さんと共に取り組みたいと考えています。これから、どうぞよろしくお願いいたします。



## 略歴

昭和62年 4月	熊本県入庁
平成27年 4月	県福岡事務所長
平成28年 4月	商工観光労働部企業立地課長
平成29年 4月	県教育委員会文化課長
平成31年 4月	商工観光労働部労働雇用創生課長
令和3年 4月	知事公室危機管理監
令和5年 4月	県南広域本部長
令和7年 3月	熊本県退職
7月	合志市副市長

就任式で挨拶する岡村副市長（7月1日）



## 迅速な対応、支援へ

# 災害時における協力に関する協定

5月16日、合志市は、一般社団法人全日本冠婚葬祭互助協会と、『災害時における協力に関する協定』を締結しました。

同協会の会員事業者が、大規模災害時に、遺体の安置場所の提供や、帰宅困難者への支援などを行なうものです。同協会との協定締結は県内8例目、県北地域では初めてです。



## 多くの人に見てもらいたい 二子石義之さんの作品、市に寄贈

合志市在住で4年前に亡くなった、抽象画家・二子石義之さんの作品が市に寄贈されました。小国町出身の画家・坂本善三さんに師事し、県美術家連盟副会長も務めた二子石さんは、空間表現など抽象画を追求した作品で知られています。

長男の夏彦さんのご厚意で寄贈された作品『円NO14』は、市総合センター『ヴィーブル』ロビーに展示しています。



## 麗央ちゃんからもらった！ こどもたちに大人気“世界の絵本”

今年3月、『合志市ふるさと大使』を務めるプロゴルファー・竹田麗央選手から贈呈された“世界の絵本”。市内の保育施設では、読み聞かせの時間に活用しています。

絵本の物語や色鮮やかな挿絵に、こどもたちは興味津々。保育士が、「この絵本は誰からプレゼントされましたか？」と尋ねると、「麗央ちゃんからもらった絵本！」という元気な声が響いていました。絵本は、遠く離れた“世界の舞台”で活躍する竹田選手と、合志市のこどもたちを繋いでいます。



## おいしい牛乳を飲みましょう 父の日に牛乳を贈ろうキャンペーン

6月13日、合志市役所で、熊本酪農業協同組合女性部が、牛乳の消費拡大を目的とした『父の日に牛乳を贈ろうキャンペーン』を行ないました。

10年以上続く父の日のキャンペーンは菊池地域で始まり、現在では全国で行なわれています。関係者は、「丹精込めて生産した、おいしい牛乳を日頃から多くの人に飲んでほしい」と話しています。



## 大阪・関西万博の関連行事 アフリカについて学ぶ出前授業

6月17日、西合志第一小学校で、国連開発計画（UNDP）が、『アフリカ出前授業』を行ないました。これは、大阪・関西万博の国連パビリオンでのイベント『アフリカウィーク』の関連行事で、全国8つの小学校で行なわれたものです。

児童たちは、国連開発計画のスタッフからアフリカについて学んだ後、万博で映像展示される、“夢”や“好きなもの”をテーマとした絵を描きました。



## 合志にこだわった逸品が完成 新たな芋焼酎『KAGUYA+』

合志市の農産物の活性化を目指す、合志農業活カプロジェクトの支援で、新たな芋焼酎『KAGUYA+』が完成しました。

合志市産の新品種のサツマイモ『栗かぐや®』と麴の米で出来た、合志にこだわった芋焼酎です。5月28日、関係者や報道機関も集まり完成発表会が開催され、6月には販売が始まりました。ぜひご賞味ください。



◀詳しいことや購入はこちらから



## 自分たちが出来ることを考えよう 地球温暖化対策ワークショップ

合志市など『熊本連携中枢都市圏』は、地球温暖化対策実行計画の改定を進めています。6月18日、西合志第一小学校で、こどもたちの意見を計画に反映させるため、ワークショップを開きました。

児童たちは、合志市の環境衛生課の職員から、地球温暖化とその対策などについて説明を聞き、自分たちが出来ることを発表しました。




# 竹迫観音祭

7月12日土曜日に開催された令和7年の竹迫観音祭。上町、下町、横町の3町の『ドランジャー』と呼ばれる台車は、豪快に連結された後観音堂に奉納され、五穀豊穰などを祈願しました。日中は雨脚が強まる時もありましたが、祭りの時間は小康状態となり、出店が並んだ竹迫地区は多くの人出で賑わいました。



市ホームページ  
竹迫観音祭



合志市  
ホームページ



合志市公式X  
(旧Twitter)

